

(別添様式1-1・事業主基準)

タイプ別ゼロ・エネルギー評価書(提案種別・提出書類)

グループ名	京阪神木造住宅協議会		
地域区分	6地域	タイプ名称	京阪神地域木造高耐震ゼロ住宅【6地域】

※住宅の提案種別により、提出が必要な書類が異なります。
 ※□は該当するものを■として選択し、■で選択した資料が添付されていることを確認してください。

【提案種別及び提出書類】

住宅の提案種別		1)	2)	
		■ 本事業のゼロ・エネルギー評価方法に基づいて提案する住宅の一次エネルギー消費量が概ねゼロとなるもの	□ 審査委員会が上記と同等以上の水準の省エネ性能を有する住宅として認めるもの	
①提案種別及び提出書類		■ 別添様式1-1・事業主基準(本紙)	□ 別添様式1-1・事業主基準(本紙)	
②提案内容		■ 別添様式1-2・事業主基準	□ 別添様式1-2・事業主基準	
③一次エネルギー消費量の評価書【総括表】		■ 別添様式2-1・事業主基準	□ 別添様式2-1・事業主基準	
④一次エネルギー消費量の計算書	基本仕様	■ 基本仕様	■ 別添様式2-2-A・事業主基準 添付資料2-2-A Webプログラム(設置なし) ^{※1}	□ 別添様式2-2-A・事業主基準 添付資料2-2-A Webプログラム(設置なし) ^{※1}
		□ 断熱区分(オ)を超える場合	□ 別添様式2-2-B①・事業主基準 ~別添様式2-2-B②・事業主基準 添付資料2-2-B Webプログラム(設置なし) ^{※2}	□ 別添様式2-2-B①・事業主基準 ~別添様式2-2-B②・事業主基準 添付資料2-2-B Webプログラム(設置なし) ^{※2}
	その他の省エネシステム	□ 太陽熱温水器を導入する場合	□ 別添様式2-3・事業主基準 添付資料2-3 Webプログラム(設置あり) ^{※3}	□ 別添様式2-3・事業主基準 添付資料2-3 Webプログラム(設置あり) ^{※3}
		□ コージェネレーションシステムを導入する場合	□ 別添様式2-4・事業主基準 添付資料2-4-1 Webプログラム(設置あり) ^{※4} 添付資料2-4-2 早見表	□ 別添様式2-4・事業主基準 添付資料2-4-1 Webプログラム(設置あり) ^{※4} 添付資料2-4-2 早見表
		□ 空気集熱式太陽熱利用システムを導入する場合	□ 別添様式2-5・事業主基準 添付資料2-5 早見表	□ 別添様式2-5・事業主基準 添付資料2-5 早見表
	太陽光発電	■ 早見表の場合	■ 別添様式2-6-A・事業主基準(早見表)	□ 別添様式2-6-A・事業主基準(早見表)
		□ 算定ツールの場合	□ 別添様式2-6-B・事業主基準 添付資料2-6-B Webプログラム(設置あり) ^{※5}	□ 別添様式2-6-B・事業主基準 添付資料2-6-B Webプログラム(設置あり) ^{※5}
	⑤確定(建売、請負)したプランで申請する場合		□ 添付資料3(住宅の概要がわかる図面(平面図、断面図等)) ^{※6}	□ 添付資料3(住宅の概要がわかる図面(平面図、断面図等)) ^{※6}
	⑥導入する省エネ手法の内容【審査委員会が認める住宅として申請する場合】			□ 別添様式3・事業主基準

※1)太陽光発電、太陽熱温水器、コージェネレーションシステムを全て「設置なし」として計算したWebプログラムを添付してください。

※2)太陽光発電、太陽熱温水器、コージェネレーションシステムを全て「設置なし」として、断熱区分(オ)と(ウ)それぞれで計算したWebプログラムを両方とも添付してください。



※3)太陽熱温水器を「設置あり」として計算したWebプログラムを添付してください。

※4)コージェネレーションシステムを「設置あり」として計算したWebプログラムを添付してください。

※5)太陽光発電を「設置あり」として計算したWebプログラムを添付してください。

※6)延床面積がわかるように記載してください。

提案する住宅及び導入する省エネ手法の内容

グループ名	京阪神木造住宅協議会											
タイプ名称	京阪神地域木造高耐震ゼロエネ住宅【6地域】											
<p>【提案する住宅の概要】</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 30%;"> <p>■断熱性能・・・Q値2.2W/m²K 以下 断熱材：現場発泡硬質ウレタンフォーム(壁・天井) A種押出法ポリスチレンフォーム保温板3種(床) 玄関ドア：金属製断熱フラッシュD3仕様 サッシ：南面の掃出窓・・・樹脂サッシ+Low-Eガラス その他・・・アルミ樹脂複合サッシ+Low-Eガラス</p> </div> <div style="width: 30%;"> <p>■太陽光発電システム搭載3.7kW</p> </div> <div style="width: 30%;"> <p>■気密性能・・・C値0.9 以下 気密測定を実施</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <div style="width: 30%;"> <p>■照明・・・LED照明を利用</p> </div> <div style="width: 30%;"> <p>■冷暖房設備・・・ LDK高効率エアコン ダイキンAXシリーズ S40STRXP-W</p>  <table border="1" style="font-size: small;"> <thead> <tr> <th>量数のめやす</th> <th>能力(kW)</th> <th>消費電力(W)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>暖房 11~14畳 (18~23㎡)</td> <td>5.0 (0.5~11.2)</td> <td>915 (80~3,560)</td> </tr> <tr> <td>冷房 11~17畳 (18~28㎡)</td> <td>4.0 (0.4~5.3)</td> <td>830 (80~1,330)</td> </tr> </tbody> </table> <p>(JIS C 9612:2013) 消費電力量 期間合計(年間) 1,097 kWh (JIS C 9612:2005) 省エネ基準達成率 142% 省エネ率 7.0 寸法規定 低温暖房能力※8.1kW</p> </div> <div style="width: 30%;"> <p>■給湯設備・・・ 高効率給湯器ヒートポンプ式 日立 フルオート 460L BHP-F46PU</p>  <p>省エネ基準達成率 100% 年間給湯保温効率 3.3 目標年度 2017年度</p> </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;"> <p>京阪神地域木造高耐震 ゼロエネ住宅【6地域】</p> </div> <div style="display: flex; justify-content: center; margin-top: 10px;"> <div style="width: 60%;"> <p>■ユニットバス・キッチン水栓・・・節湯機器を使用</p> </div> </div>				量数のめやす	能力(kW)	消費電力(W)	暖房 11~14畳 (18~23㎡)	5.0 (0.5~11.2)	915 (80~3,560)	冷房 11~17畳 (18~28㎡)	4.0 (0.4~5.3)	830 (80~1,330)
量数のめやす	能力(kW)	消費電力(W)										
暖房 11~14畳 (18~23㎡)	5.0 (0.5~11.2)	915 (80~3,560)										
冷房 11~17畳 (18~28㎡)	4.0 (0.4~5.3)	830 (80~1,330)										
<p>【提案する住宅の断熱性能、設備の方式・性能、その他省エネ手法】</p>												
事業主基準の計算に反映されるもの	断熱性能の計算方法	<input type="checkbox"/> 断熱性能の区分	■ 熱損失係数(Q値) ^{注)} 2.2 W/m ² K									
		<input type="checkbox"/> 熱貫流率(U値)	■ 熱交換型換気の効果の有無 <input type="checkbox"/> あり ■ なし									
	暖房設備	<input type="checkbox"/> 全館連続 ■ 部分間欠	仕様：高効率エアコン(APF7.0)									
	冷房設備	<input type="checkbox"/> 全館連続 ■ 部分間欠	仕様：高効率エアコン(APF7.0)									
	換気設備	<input type="checkbox"/> ダクト式 ■ 壁掛けファン	仕様：壁付給気口、パイプファン									
	照明設備	LED照明										
	給湯設備	高効率給湯器ヒートポンプ式(年間給湯保温効率JIS3.3)										
	太陽光発電	1 面	発電出力 計	3.70 kW								
その他												
事業主基準の計算に反映されない設備、取り組み	気密測定を実施し、C値0.9以下になるよう施工します。通風計画を行い、自然風を取り込み排熱を行うことで冷房負荷を減らします。冬場に日射熱を取り込む計画を行い、暖房負荷を減らします。											

注) 熱損失係数(Q値)を使用する場合は、Q値の計算に熱交換型換気の効果を見込むか否かを選択してください。なお、Q値の計算に熱交換型換気の効果を見込む場合には、算定Webプログラムによる計算の際に換気機器の種類において「熱交換なし」の記載のある機器を選択してください。

一次エネルギー消費量の評価書【総括表】

1. 住宅概要	タイプ名称	京阪神地域木造高耐震ゼロ住宅【6地域】								
	地域区分	<input type="checkbox"/> 1	<input type="checkbox"/> 2	<input type="checkbox"/> 3	<input type="checkbox"/> 4	<input type="checkbox"/> 5	<input checked="" type="checkbox"/> 6	<input type="checkbox"/> 7	<input type="checkbox"/> 8	
	延床面積	120.00 m ² ※小数点以下第3位を切り捨てて記入してください								
2. 一次エネルギー消費量の計算結果										
※ピンク色の欄の数値を様式3-①の(4)に転記してください。										
項目		計算結果		備考			記号			
面積 補正前	標準エネルギー消費量		54.4	GJ/年	①: 別添様式2-2-Aの1)の値を転記			E _{ST}		
	省 エ ネ 量	A (基本仕様)		19.8	GJ/年	②: 別添様式2-2-Aの3)又は別添様式2-2-B②の5)の値を転記			S _A	
		B (太陽熱給湯器)			GJ/年	③: 別添様式2-3の値を転記			S _B	
		C (コージェネレーション)			GJ/年	④: 別添様式2-4の値を転記			S _C	
		D (空気集熱式太陽熱利用)			GJ/年	⑤: 別添様式2-5の値を転記			S _D	
	小計		19.8	GJ/年	⑥ = ②+③+④+⑤			S _{SUBTOTAL}		
	当該住宅のエネルギー消費量 (太陽光発電除く)		34.6	GJ/年	⑦ = ①-⑥			S _{TOTAL}		
	当該住宅のエネルギー削減率 (太陽光発電除く)		36.4	%	⑧ = ⑥÷①×100			R ₀		
面積 補正後	標準エネルギー消費量		54.4	GJ/年	⑨ = ①÷120×延床面積			E _{ST'}		
	省エネ量(太陽光発電除く)		19.8	GJ/年	⑩ = ⑥÷120×延床面積			S _{SUBTOTAL'}		
	当該住宅のエネルギー消費量 (太陽光発電除く)		34.6	GJ/年	⑪ = ⑦÷120×延床面積			-		
太陽光 発電	その 1	発電出力		3.70	kW	⑫: 設置予定の公称最大出力			-	
		1kWあたりエネルギー消費削減量		10.7	GJ/kW年	⑬: 別添様式2-6-Aの早見表または別添様式2-6-Bの値を転記			-	
	その 2	発電出力			kW	⑭: 設置予定の公称最大出力			-	
		1kWあたりエネルギー消費削減量			GJ/kW年	⑮: 別添様式2-6-Aの早見表または別添様式2-6-Bの値を転記			-	
	その 3	発電出力			kW	⑯: 設置予定の公称最大出力			-	
		1kWあたりエネルギー消費削減量			GJ/kW年	⑰: 別添様式2-6-Aの早見表または別添様式2-6-Bの値を転記			-	
	その 4	発電出力			kW	⑱: 設置予定の公称最大出力			-	
		1kWあたりエネルギー消費削減量			GJ/kW年	⑲: 別添様式2-6-Aの早見表または別添様式2-6-Bの値を転記			-	
	エネルギー消費削減量		39.6	GJ/年	⑳ = ⑫×⑬+⑭×⑮+⑯×⑰+⑱×⑲			S _E		
	計算 結果	エネルギー消費量		-5.0	GJ/年	㉑ = ⑨-⑩-㉒			-	
エネルギー消費削減量		59.4	GJ/年	㉒ = ⑩+㉓			S _{TOTAL}			
エネルギー削減率		109.2	%	㉓ = ㉑÷⑨×100			R			

注1) STEP1~5、各指標の記号は「一次エネルギー消費量の算定要領」に対応していますので、算定要領を参照してください。

注2) 2. の面積補正について、面積が未定の場合は、延床面積を120.00m²として2. の⑧~⑩を計算してください。

注3) 太陽光発電は、別添様式2-6-Aの早見表または別添様式2-6-Bの値をそれぞれ該当する欄に記入してください。

一次エネルギー消費量の計算書【基本仕様】

タイプ名称	京阪神地域木造高耐震ゼロ住宅【6地域】																																														
<p>※Webプログラムを使用した場合は、計算結果のPDFファイルを印刷して添付してください。</p> <p>※Webプログラムを使用した場合は、太陽熱給湯器、コージェネレーション設備、太陽光発電設備は必ず「設置なし」として計算してください。(別途、別添様式2-3、2-4、2-6で計算します。)</p>																																															
<p>算定ツールの計算結果を該当する欄に記載してください。</p> <p>※本様式は算定要領の【STEP1-1】に対応しています。</p> <p>●提案する断熱性能(Q値)が算定ツールの断熱区分(才)を超える場合は、別添様式2-2-Bを使用してください。</p> <p>●コージェネレーション設備を導入する場合、給湯設備は該当するコージェネレーションタイプのバックアップボイラと同様のものとして計算してください。(詳細は算定要領のP.資4-7の表を参照)</p> <p>※算定シートを使用した場合は、「住宅事業建築主の判断の基準」における報告様式3を利用して計算条件と計算結果を記載し、添付してください。</p>	<p>算定ツールの計算結果</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th colspan="2">計算値</th> <th>記号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(1) 基準一次エネルギー消費量</td> <td>49.0</td> <td>GJ/年</td> <td>E_{SS}</td> </tr> <tr> <td colspan="4">(2) 当該住宅の一次エネルギー消費量</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">(2-1) コージェネレーションシステムを設置しない場合</td> <td>暖房設備</td> <td>7.9</td> <td>GJ/年</td> <td>E_H</td> </tr> <tr> <td>冷房設備</td> <td>4.8</td> <td>GJ/年</td> <td>E_C</td> </tr> <tr> <td>換気設備</td> <td>1.0</td> <td>GJ/年</td> <td>E_V</td> </tr> <tr> <td>給湯設備</td> <td>12.6</td> <td>GJ/年</td> <td>E_{HW}</td> </tr> <tr> <td>照明設備</td> <td>8.3</td> <td>GJ/年</td> <td>E_L</td> </tr> <tr> <td></td> <td>消費量小計</td> <td>34.6</td> <td>GJ/年</td> <td>E_{TOTAL}</td> </tr> <tr> <td>太陽光発電の発電量(評価分)</td> <td></td> <td>GJ/年</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>(2-2)コージェネレーションシステムを設置する場合</td> <td></td> <td>GJ/年</td> <td>E_{CGS}</td> </tr> </tbody> </table>	項目	計算値		記号	(1) 基準一次エネルギー消費量	49.0	GJ/年	E _{SS}	(2) 当該住宅の一次エネルギー消費量				(2-1) コージェネレーションシステムを設置しない場合	暖房設備	7.9	GJ/年	E _H	冷房設備	4.8	GJ/年	E _C	換気設備	1.0	GJ/年	E _V	給湯設備	12.6	GJ/年	E _{HW}	照明設備	8.3	GJ/年	E _L		消費量小計	34.6	GJ/年	E _{TOTAL}	太陽光発電の発電量(評価分)		GJ/年	—	(2-2)コージェネレーションシステムを設置する場合		GJ/年	E _{CGS}
項目	計算値		記号																																												
(1) 基準一次エネルギー消費量	49.0	GJ/年	E _{SS}																																												
(2) 当該住宅の一次エネルギー消費量																																															
(2-1) コージェネレーションシステムを設置しない場合	暖房設備	7.9	GJ/年	E _H																																											
	冷房設備	4.8	GJ/年	E _C																																											
	換気設備	1.0	GJ/年	E _V																																											
	給湯設備	12.6	GJ/年	E _{HW}																																											
	照明設備	8.3	GJ/年	E _L																																											
	消費量小計	34.6	GJ/年	E _{TOTAL}																																											
太陽光発電の発電量(評価分)		GJ/年	—																																												
(2-2)コージェネレーションシステムを設置する場合		GJ/年	E _{CGS}																																												

※上表を入力すると自動で計算されますので、入力は不要です。

※ピンク色の欄の数値を別添様式2-1に転記してください。

1) 標準エネルギー消費量(E_{ST})

$$\begin{array}{c} (E_{SS}) \\ \boxed{49.0} \end{array} \div 0.9 = \begin{array}{c} (E_{ST}) \\ \boxed{54.4} \end{array} \text{ [GJ/年]} \\ \Rightarrow \text{別添様式2-1の「2の①」に転記}$$

2) 当該住宅の一次エネルギー消費量(E_{TOTAL})

$$\begin{array}{c} (E_H) \\ \boxed{7.9} \end{array} + \begin{array}{c} (E_C) \\ \boxed{4.8} \end{array} + \begin{array}{c} (E_V) \\ \boxed{1.0} \end{array} + \begin{array}{c} (E_{HW}) \\ \boxed{12.6} \end{array} + \begin{array}{c} (E_L) \\ \boxed{8.3} \end{array} = \begin{array}{c} (E_{TOTAL}) \\ \boxed{34.6} \end{array} \text{ [GJ/年]}$$

3) 基本仕様によるエネルギー消費削減量(省エネ量A:S_A)

$$\begin{array}{c} (E_{ST}) \\ \boxed{54.4} \end{array} - \begin{array}{c} (E_{TOTAL}) \\ \boxed{34.6} \end{array} = \begin{array}{c} (S_A) \\ \boxed{19.8} \end{array} \text{ [GJ/年]} \\ \Rightarrow \text{別添様式2-1の「2の②」に転記}$$

一次エネルギー消費量の計算書【太陽光発電を導入する場合(早見表)】

タイプ名称	京阪神地域木造高耐震ゼロ住宅【6地域】
<p>※別添様式2-1で記載する太陽光発電の計算根拠として、早見表を提出してください。 ※本様式は算定要領の【STEP4】に対応しています。</p> <p>早見表を使用して計算する場合</p> <p>断熱地域区分別の1kWあたりの一次エネルギー削減量の早見表から、提案システムの方位、傾斜角に応じた値を求め、別添様式2-1の「2の⑫、⑭、⑯、⑰」に転記してください。</p> <p>早見表を使用する際には、早見表の該当する値のセルの、色を変更する、「○」をつけるなど、転記した値がわかるように明示してください。</p> <p>※詳細が未定の場合は、方位：真南、傾斜角：30°として計算することが可能です。 ※設置勾配(寸表示)の傾斜角(度表示)との対応については、算定要領の別表4を参考としてください。</p>	

太陽光発電設備の1kWあたりのエネルギー消費削減量の早見表

※該当する地域区分を□を■で選択し、太陽光発電設備の方位角及び傾斜角に該当するものから、1kWあたりのエネルギー消費削減量を求めてください。

□ 1地域 (I a地域)

1kWあたりの一次エネルギー消費削減量(GJ/kW・年)

		傾斜角						
		0°	10°	20°	30°	40°	60°	90°
方位角	真南から東・西へ15°未満	8.8	9.3	9.6	9.9	9.9	9.1	6.2
	真南から東または西へ15°以上45°未満	8.8	9.3	9.6	9.6	9.3	8.5	5.9
	真南から東または西へ45°以上75°未満	8.8	9.1	9.1	8.8	8.5	7.6	5.1
	真南から東または西へ75°以上105°未満	8.8	8.5	8.2	7.9	7.4	6.2	4.2
	真南から東または西へ105°以上135°未満	8.8	8.2	7.6	6.8	6.2	4.8	3.1
	真南から東または西へ135°以上165°未満	8.8	7.9	7.1	6.2	5.4	4.0	2.3
	真南から東・西へ165°以上真北まで	8.8	7.9	6.8	5.9	5.1	3.4	2.0

□ 2地域 (I b地域)

1kWあたりの一次エネルギー消費削減量(GJ/kW・年)

		傾斜角						
		0°	10°	20°	30°	40°	60°	90°
方位角	真南から東・西へ15°未満	8.9	9.5	9.8	9.8	9.5	8.7	5.8
	真南から東または西へ15°以上45°未満	8.9	9.2	9.5	9.5	9.5	8.4	5.8
	真南から東または西へ45°以上75°未満	8.9	9.2	9.2	8.9	8.7	7.5	5.2
	真南から東または西へ75°以上105°未満	8.9	8.7	8.7	8.1	7.8	6.6	4.3
	真南から東または西へ105°以上135°未満	8.9	8.4	7.8	7.2	6.6	5.2	3.5
	真南から東または西へ135°以上165°未満	8.9	8.4	7.5	6.6	5.8	4.0	2.6
	真南から東・西へ165°以上真北まで	8.9	8.1	7.2	6.3	5.2	3.7	2.0

太陽光発電設備の1kWあたりのエネルギー消費削減量の早見表

※該当する地域区分を□を■で選択し、太陽光発電設備の方位角及び傾斜角に該当するものから、1kWあたりのエネルギー消費削減量を求めてください。

□ 3地域(Ⅱ地域)

1kWあたりの一次エネルギー消費削減量(GJ/kW・年)

		傾斜角						
		0°	10°	20°	30°	40°	60°	90°
方位角	真南から東・西へ15° 未満	8.7	9.1	9.4	9.4	9.4	8.4	5.6
	真南から東または西へ15° 以上45° 未満	8.7	9.1	9.4	9.4	9.1	8.0	5.6
	真南から東または西へ45° 以上75° 未満	8.7	9.1	9.1	8.7	8.4	7.3	4.9
	真南から東または西へ75° 以上105° 未満	8.7	8.7	8.4	8.0	7.7	6.6	4.2
	真南から東または西へ105° 以上135° 未満	8.7	8.4	8.0	7.3	6.6	5.2	3.5
	真南から東または西へ135° 以上165° 未満	8.7	8.0	7.3	6.6	5.9	4.2	2.8
	真南から東・西へ165° 以上真北まで	8.7	8.0	7.3	6.3	5.6	3.8	2.1

□ 4地域(Ⅲ地域)

1kWあたりの一次エネルギー消費削減量(GJ/kW・年)

		傾斜角						
		0°	10°	20°	30°	40°	60°	90°
方位角	真南から東・西へ15° 未満	9.8	10.5	10.5	10.5	10.5	9.1	5.9
	真南から東または西へ15° 以上45° 未満	9.8	10.1	10.5	10.5	10.1	9.1	5.9
	真南から東または西へ45° 以上75° 未満	9.8	10.1	10.1	9.8	9.4	8.0	5.2
	真南から東または西へ75° 以上105° 未満	9.8	9.8	9.4	9.1	8.4	7.0	4.5
	真南から東または西へ105° 以上135° 未満	9.8	9.4	8.7	8.0	7.3	5.9	3.5
	真南から東または西へ135° 以上165° 未満	9.8	9.1	8.4	7.3	6.3	4.5	2.8
	真南から東・西へ165° 以上真北まで	9.8	9.1	8.0	7.0	5.9	4.2	2.4

□ 5地域(Ⅳa地域)

1kWあたりの一次エネルギー消費削減量(GJ/kW・年)

		傾斜角						
		0°	10°	20°	30°	40°	60°	90°
方位角	真南から東・西へ15° 未満	9.0	9.4	9.7	10.1	9.7	9.0	6.1
	真南から東または西へ15° 以上45° 未満	9.0	9.4	9.7	9.7	9.4	8.3	5.8
	真南から東または西へ45° 以上75° 未満	9.0	9.0	9.0	9.0	8.7	7.6	5.1
	真南から東または西へ75° 以上105° 未満	9.0	8.7	8.3	7.9	7.6	6.5	4.0
	真南から東または西へ105° 以上135° 未満	9.0	8.3	7.9	7.2	6.5	5.1	3.2
	真南から東または西へ135° 以上165° 未満	9.0	8.3	7.2	6.5	5.4	4.0	2.5
	真南から東・西へ165° 以上真北まで	9.0	7.9	7.2	6.1	5.1	3.6	2.2

太陽光発電設備の1kWあたりのエネルギー消費削減量の早見表

※該当する地域区分を□を■で選択し、太陽光発電設備の方位角及び傾斜角に該当するものから、1kWあたりのエネルギー消費削減量を求めてください。

■ 6地域(IVb地域)

1kWあたりの一次エネルギー消費削減量(GJ/kW・年)

		傾斜角						
		0°	10°	20°	30°	40°	60°	90°
方位角	真南から東・西へ15° 未満	10.0	10.3	10.7	10.7	10.3	9.2	5.9
	真南から東または西へ15° 以上45° 未満	10.0	10.3	10.3	10.3	10.0	8.9	5.5
	真南から東または西へ45° 以上75° 未満	10.0	10.0	10.0	10.0	9.2	8.1	5.2
	真南から東または西へ75° 以上105° 未満	10.0	10.0	9.6	9.2	8.5	7.0	4.8
	真南から東または西へ105° 以上135° 未満	10.0	9.6	8.9	8.1	7.4	5.9	3.7
	真南から東または西へ135° 以上165° 未満	10.0	9.2	8.5	7.7	6.6	4.8	3.0
	真南から東・西へ165° 以上真北まで	10.0	9.2	8.5	7.4	6.3	4.4	2.6

□ 7地域(V地域)

1kWあたりの一次エネルギー消費削減量(GJ/kW・年)

		傾斜角						
		0°	10°	20°	30°	40°	60°	90°
方位角	真南から東・西へ15° 未満	10.5	10.9	11.3	11.3	10.9	9.7	5.8
	真南から東または西へ15° 以上45° 未満	10.5	10.9	11.3	10.9	10.5	9.3	5.8
	真南から東または西へ45° 以上75° 未満	10.5	10.9	10.5	10.5	10.1	8.6	5.4
	真南から東または西へ75° 以上105° 未満	10.5	10.5	10.1	9.7	9.0	7.4	5.1
	真南から東または西へ105° 以上135° 未満	10.5	10.1	9.3	9.0	7.8	6.2	3.9
	真南から東または西へ135° 以上165° 未満	10.5	9.7	9.0	8.2	7.0	5.1	2.7
	真南から東・西へ165° 以上真北まで	10.5	9.7	9.0	7.8	6.6	4.7	2.3

□ 8地域(VI地域)

1kWあたりの一次エネルギー消費削減量(GJ/kW・年)

		傾斜角						
		0°	10°	20°	30°	40°	60°	90°
方位角	真南から東・西へ15° 未満	10.7	10.7	10.7	10.3	9.9	8.2	4.9
	真南から東または西へ15° 以上45° 未満	10.7	10.7	10.7	10.3	9.9	8.2	4.9
	真南から東または西へ45° 以上75° 未満	10.7	10.7	10.3	9.9	9.5	7.8	4.9
	真南から東または西へ75° 以上105° 未満	10.7	10.3	10.3	9.5	9.1	7.4	4.9
	真南から東または西へ105° 以上135° 未満	10.7	10.3	9.9	9.1	8.2	6.6	4.1
	真南から東または西へ135° 以上165° 未満	10.7	10.3	9.5	8.6	7.8	5.8	3.3
	真南から東・西へ165° 以上真北まで	10.7	9.9	9.5	8.6	7.4	5.4	2.9

設置勾配(寸表示)の傾斜角(度表示)との対応表

設置勾配		算定ツールの 計算に使用する 傾斜角
勾配	角度	
水平	0°	0°
1寸	5.71°	10°
2寸	11.31°	10°
3寸	16.70°	20°
4寸	21.80°	20°
5寸	26.57°	30°
6寸	30.96°	30°
7寸	34.99°	30°
8寸	38.66°	40°
9寸	41.99°	40°
10寸	45.00°	40°
~50° 未満		40°
50° 以上、75° 未満		60°
75° 以上		90°

(注)算定ツールの計算に使用する傾斜角は、設置勾配(寸表示)を角度(度表示)に換算して四捨五入し、該当する傾斜角を選択してください。